

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

参考値

(データ集約 : 1/23)

採取場所	1号機原子炉建屋上部① (カバー排気系フィルター入口) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部② (カバー北西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部③ (カバー北東コーナー) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日時	平成27年1月7日 5時08分～6時08分		平成27年1月7日 3時05分～4時05分		平成27年1月7日 8時12分～9時12分		
検出核種 (半減期)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	5.7E-06	0.00	4.8E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	2.2E-05	0.01	1.8E-05	0.01	3E-03

- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10<sup>-〇</sup>と同じ意味である。  
 その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。  
 検出限界値は次の通り。  
 粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約9E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-6Bq/cm<sup>3</sup>。  
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/3>

参考値

(データ集約 : 1/23)

採取場所	1号機原子炉建屋上部④ (カバー南西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑤ (原子炉建屋オペフロ面開口部) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑥ (使用済燃料プール天井部) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成27年1月7日 4時07分～5時07分		平成27年1月7日 7時10分～8時10分		平成27年1月7日 6時09分～7時09分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	4.2E-06	0.00	6.7E-06	0.00	6.1E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.5E-05	0.01	2.3E-05	0.01	2.7E-05	0.01	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10<sup>-〇</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

粒子状のI-131が約7E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/3>

参考値

(データ集約：1/23)

採取場所	1号機原子炉建屋上部⑦ (使用済燃料プール天井部) (チャコールフィルタ)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成27年1月7日 10時31分～10時41分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10<sup>-〇</sup>と同じ意味である。  
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。  
検出限界値は次の通り。  
揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。  
本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。